

特殊拍とアクセント：北九州市小倉方言の場合

木部, 暢子
純真女子短期大学講師

<https://doi.org/10.15017/12012>

出版情報：語文研究. 58, pp.46-56, 1984-12-25. 九州大学国語国文学会
バージョン：
権利関係：

特殊拍とアクセント

——北九州市小倉方言の場合——

木 部 暢 子

東京方言のアクセントは、撥音、長音、促音、二重母音の第二拍めの拍にアクセント核を置きにくいという性質を持つて^(注1)いる。このことを以て、東京方言のアクセントは音節単位のアクセントだと^(注3)言われる。しかし、このような解釈に対しては、近年、日暮嘉子氏、上野善道氏によって反論が^(注4)出された。

一方、東京以外の方言に目を向けてみると、音節単位のアクセントではなくモーラ単位のアクセントを持つ方言はたくさんある。現在関西式アクセントが^(注5)そうであるし、上野氏によると「本格的調査をすれば、全国のもっと多くの地点から多くの語彙が集まるであろう」という。すでに上野氏によって、北九州市小倉方言が「モーラアクセント方言」であるとの御指摘を受けているが、その実態について詳しく報告するのが本稿の目的である。

資料は筆者（昭和30年生、18歳まで北九州市小倉北区在住、以後は福岡市在住）の内省による。アクセント記号は、無核は①、有核の語については、核の位置を語頭から数えた拍数によって○で囲んだ数字で表す。①は語頭から数えて第1拍めに核のあること、②は語頭から数えて第2拍めに核のあること……を表す。また、語全体

の拍数を（ ）に入れて表す。語彙は、上野善道氏「アクセント調査彙用参考資料」^(注6)によった。

北九州市小倉方言が「モーラアクセント方言」であることを証明するために、次のいくつかの面を取り扱うことにする。

- 1 2モーラ1音節^(注2)におけるアクセントの対立
 - 2 特殊拍が核を持つ語
 - 2、1 単純語
 - 2、2 複合語
 - 2、3 単語結合体
- なお、本稿で扱う特殊拍とは、撥音、長音、二重母音の第2拍^(注7)めモーラである。促音については、促音拍が核を担うかどうかの判定^(注7)が難しく、今回は除外することにする。

1 2モーラ1音節におけるアクセントの対立

北九州市小倉方言には、少数ではあるが、次のような対立がある。

三時②——惨事①

三箇②——三顧①

千語②——先後①

何時②——汝、難事①

九箇②——旧故①

十五②——銃後①

十時②——従事①

上段の語は、共通語的に発音すれば①に言うこともあるが、日常では②が普通。それに対して下段の語は、決して②に言うことはない。つまり上記の語では、2モーラー音節の第1モーラめに核のあるアクセント（「音節第1モーラ核」と呼ぶことにする）を有するか、第2モーラめに核のあるアクセント（「音節第2モーラ核」と呼ぶことにする）を有するか、が意味の違いに対応しているのである。北九州市小倉方言では、音節第1モーラ核と音節第2モーラ核とを異なる音韻（広義）として認識していることになる。

2 特殊拍が核を持つ語

2、1 単純語

単純語で、音節第2モーラ核を有する語がいくつかある。

撥音

(3) あんた② あんよ② 寝んね②

(4) サンダル② ジャングル② 井② ハンカチ② ブランコ③

タンポポ②

(5) インタビュー② タンバリン② ちゃんちゃんこ④

(6) パンフレット②

長音

(4) 狼② キューピー② 蝙蝠② 蟋蟀② サークラス②

ほおずき②

(5) かるうじて③ しじゅうから③ ソーセージ②

チューリップ② ドーナッツ② ピーナッツ②

マーガリン②

(6) トーナメント②

二重母音

(4) ナイロン② フィルム② ライオン②

(5) ウィスキー②

(6) サイクリング②

有核のワ行五段活用動詞から派生した居体言は末尾に核を持つ。

(3) 迷い③ 払い③

(4) 争い④

この中には、無意識に語源俗解を行っているものもあるかもしれない。例えば、ブランコ↑ブラン+コ、キューピー↑キュー+ピー、しじゅうから↑しじゅう+から、等。しかし以下に挙げる複合語とは造語力に差があるので、単純語と考えてここに挙げた。

2、2 複合語

音節第2モーラ核を有する複合語はかなりある。撥音、長音、二重母音を有する語という性質上、用例は漢語が多くなるが、漢語の場合、一字一字が造語力を持つので和語の複合語と同等には取り扱えない面もある。池上禎造氏によると、三字の漢語の名詞は「一字や二字のものの組み合わせであり、二字の漢語は固定したものと解すべき」であると言う。二字の漢語の取扱いに問題がありそうだが、まず用例を例挙してみよう。

撥音

二字の漢語

- (3)軍医② 権威② 今度② 三位② 三区② 三箇②
- 三時② 三次② 三里② 三分② 織維② 善意②
- 千箇② 千語② 千部② 全部② 千里② 単位②
- 範圍② 半歩② 文句② 文字②
- (4)三角② 三月② 三色② 三食②、④ 三杯② 三番②
- 三匹② 三本② 三枚② 三文② 三役② 三塁②
- 千人② 音楽②

三字以上の漢語

- (5)一番茶④ 広範圍④ 守備範圍④ 人件費④ 新鮮味④
- 第三者④ 断面図④ 婦人服③ 万単位④ 野蛮人③
- (6)一年生④ 皆勤賞④ 回転軸④ 簡単服④ 金婚式④
- 計算尺④ 結婚式④ 五十音図⑤ 実験室④ 住民税④
- 少年院④ 職員室④ 成人式④ 千円札④ 算盤塾④
- 台湾人④ 朝鮮人④ 天秤棒④ 人間像④、③ 百円札④
- 万年筆④ 郵便局④

その他

- (3)何時② パン屋② 四箇②
- (4)簪② 神主② 冠② 金星② 真打ち② 反物②
- どんぐり② 何年② 何番② 普断着③ 本立て②
- 本棚② 本箱② 紋付②
- (5)衣紋掛け③ 一軒屋④ カパン持ち③ 金太郎②
- 五寸釘③ ご飯粒③、④ 自分達③ 十三里④ 十文字④
- 知らん顔③ 知らん振り③ ズボン下③ ズボン吊り③
- 茶碗酒③ 茶碗蒸し③ 貯金箱③ 登山口③ 登山熱③

- 二本足③ 日本①、② 訪問着④、③ ボタン付け③
- ばたん雪③ みかん箱③

- (6)アイロンかけ④ アイロン台④ 安全ピン④ 一番鳥④
- 一番乗り④ 一番星④ 一文無し④ 一本足④ 一本杉④
- 一本橋④ 一本道④ 一本槍④ 隠元豆④ 宇治金時④
- 玄関口④ 黒板消し④ 三段跳び④ 借金取り④
- 新聞受け④ スペイン人④ 石輸入れ④ 大根足④
- 注文取り④ 提灯持ち④ でんでん虫④ 南京豆④
- 南京虫④ 古本市④ ベンベン草④ 門前町④
- 郵便受け④ 郵便箱④ ワンマンカー④
- ワンマンショー④

長音

二字の漢語

- (3)九箇② 紅茶②、① 十九② 十五② 十時②
- (4)窮屈② 九人② 十円② 十月②、④ 十三② 十人②
- 中学② 中国② 通人②

三字以上の漢語

- (5)一帳羅④ 宇宙人③ 解剖図④ 火星人③ 家庭欄③、②
- 既製服③ 禁猟区④ 化粧室③ 五号室③ 五合瓶③
- 作業服③ 始業式③ 女性車③、② 除虫菊③ 双生児②
- 年齢差④ 風景画④ 文京区④ 哺乳瓶③
- (6)一升瓶④ 学習塾④ 学生寮④ 歓迎式④ 牛乳瓶④
- 研究室④ 厚生省④ 校長室④ 十数年④ 消防服④
- 神経質④ 西洋人④ 卒業式④ 男性車④、③ 中学校②
- 東京湾④、③ 東洋人④ 特集号④ 表彰式④ 防空壕④

報道陣④ 磁瑠質④

その他

(5) 衣装持ち③ 砂糖水③ 昨日今日③ 器量良し③ 砂糖黍③、④

砂糖蜜③ 四十肩③ スキー靴③ 相撲取り③

土用波③ 二重橋③ 非常口③ 不精髭③

葡萄棚③ 向うみず③、① 四疊半③

(6) 運動靴④ 臆病風④ 救急箱④ 月給取り④

コーヒー豆④ 昆虫網④ さんしょう魚④

すけそうだら④ 成長株④ 西洋皿④ セラー服④

千両箱④ 通用口④ 鉄砲打ち④ 鉄砲水④ 鉄砲百合④

てんとう虫④ 八丈島④ 八郎瀉④ 番号札④ 貧乏神④

貧乏簞④ 弁当箱④ 万葉仮名④ 銘々皿④ 疫病神④

四合瓶④

二重母音

二字の漢語

(3) 大工②

(4) 挨拶② 海軍② 大学② 大根②

三字以上の漢語

(5) 玄米茶④ 古代人③ 山水画④ 社会人③ 社会面③、②

(6) 欧米人④ 開会式④ 現代人④ 進水式④ 潜水服④

仙台駅④、⑤ 先輩格④ 閉会式④

その他

(4) 飼い主②

(5) 同い年③ 二枚貝③ 二枚舌③ 野菜売り③ 雇い主③

(6) 一枚岩④ 玄米パン④ 手拭い掛け④

ネクタイピン④ 変体仮名④ 待ち合い室④ 松食い虫④

以上が首節第2モーラ核を有する複合語の例だが、複合語のアクセント規則といったものを最初に見ておくことにしよう。複合語のアクセント規則を考えるには、後部成素の拍数ごとにとめるのが最もよいと思う。北九州市小倉方言の複合語アクセント規則は原則として次の通り。

I、 \wedge a 拍+3 拍以上 \vee ⑤ 前部成素の拍数にかかわらず、後部の第1拍めに核を持つ(例 山桜⑤ 荷車② 夏休み③ 親心③ 出帳依頼⑤ 古新聞③)。⑥ 後部が中高型の語の場合には、もとの核を生かすことがある(例 伊勢物語⑤ 高山植物⑥ 裏日本④)。

II、 \wedge 3 拍以上+2 拍以下 \vee ⑥ 前部と後部の接合部分に核を持つ(例 桜花③ 筑後川③ 季節感③)。⑥ 後部が頭高型の場合には、もとの核を生かすことがある(例 相々傘⑤ 話し声④ 世界地図④)。⑥ 語によっては無核になるものもある(緑色① 紫色① 果物屋① 野菜屋① 卵形① 扇形①)。

III、 \wedge 2 拍以下+2 拍以下 \vee 規則が立てにくい。傾向としては⑤ 前部が無核のものは無核となる(例 桐箱① 竹箸① 鳥目①)。⑥ 前部が有核のものは、接合部分に核を持つ(例 山道② 朝顔② 夜目①)。⑥ 後部が頭高型の場合には、もとの核を生かすことがある(例 湖③ 青空③ 子山羊②)。

これを見ると、複合語アクセントの決定権は、前部成素よりも後部成素が握っているようである。I、II、III、いずれの場合にも、前部成素はもとのアクセントにかかわらず、無核となって後部へ続いていく。III-⑥、⑤に関しては前部に決定権があるように見える

が、この項は規則と言える程確かなものではない。例えば、前部が有核の語であっても複合語が無核となるものは多数ある(山犬①、肉食①、空耳①、絹糸①)し、前部を同じくする複合語でも、そのアクセントは一定しない(山犬①、山道②、春雨①、春風②)。

また、前部成業の核をそのまま生かすものもある。「富士山①」等がそれであるが、「山」という形は、阿蘇山②、久住山②、皿倉山③(単独ではそれぞれ、阿蘇①、久住①、皿倉②)のように一定しない。地名や固有名詞には様々な事情があるのだろう。

以上の規則に従えば、末尾に特殊拍を持つような語が前部成業になった場合、そしてそれがⅡ―④、Ⅲ―⑤に当てはまるものであったとすれば、前部成業末尾の特殊拍が核を担うことになるはずである。上記の複合語の例は、ほとんどがこれである。「広範囲」「守備範囲」「万単位」「宇治金時」などはⅠ―⑤に該当する。

ところが、以下に挙げる例は、特殊拍が担うべき核が一拍分前にずれてしまっている例である。

撥音

二字の漢語

- (3)行火① 安否① 因果① 演歌① 恩師① 音痴①
 音頭① 温度① 頑固① 幹事① 感謝① 元祖①
 寒波① 幹部① 金貨① 銀貨① 近畿① 金魚①
 金庫① 近視① 近所①、② 金歯① 君子① 拳固①
 言語① 検事① 限度① 賢母① 権化① 昆布①
 焜炉① 懺悔① 珊瑚① 三女① 産地① 賛否①
 真価① 進化① 新居① 甚句① 審査① 紳士①
 人事① 信者① 神社① 信徒① 人馬① 神秘①

- 新婦① 進歩① 親身① 心理① 寸暇① 寸志①
 戦果① 前科① 選挙① 占拠① 前後① 選手①
 先祖① 戦地① 全治① 鮮度① 前途① 線路①
 短歌① 担架① 短気① 端午① 男子① 短所①
 男女① 短波① 暖炉① 天下① 電気① 電車①
 天地① 電池① 南部① 認可① 任期① 人魚①
 忍者① 任地① 人夫① 妊婦① 任務① 粘土①
 呑気① 半紙① 万事① 般若① 文化① 変化①
 便器① 便宜① 弁士① 便利① 本拠① 本家①
 本土① 本部① 凡夫① 民家① 免許① 門下①
 文殊① 輪廻① 倫理① 煉瓦① 免許① 門下①
 園長① 安産① 引力① 運勢① 運賃① 運命①
 碗豆① 縁日① 勤忍① 閔白① 看病① 看病①
 漢文① 勤弁① 筋骨① 近世① 金銭① 金属①
 近代① 筋肉① 近年① 近辺① 近來① 軍隊①
 訓練① 玄関① 現在① 剣山① 現代① 県庁①、②
 剣道① 憲法① 玄米① 権力① 混雑① 根性①
 困難① 今日① 今晚① 権力① 混雑① 根性①
 神国① 信心① 人生① 親切① 親族① 人体①
 心中① 仁丹① 神道① 新年① 信念① 神仏①
 人物① 辛抱① 人類① 善悪① 先月① 線香①
 全国① 銭湯① 川柳① 戦力① 損得① 丹念①
 淡泊① 蛋白① 談判① 鍛練① 賃金① 天国①
 天罰① 天幕① 南北① 人形① 忍術① 人情①
 人数① 人相① 忍耐① 年月① 年内① 判断①

②

三字の漢語

犯人①	貧乏①	文学①	文章①	分別①	弁慶①
本校①	本国①	本心①	本店①	本人①	本能①
本名①	満月①	満足①	民族①		
(4)機関車②	写真機②	助産婦②	初心者②	夜間部②	
(5)委員会②	委員長②	偉人伝②	一輪車③	応援歌③	
火炎瓶②	火山岩②	火山灰②	関心事③	感歎符③	
紀元節②	期限内②	基本給②	基本線②	① 疑問文②	
脚線美③	共犯者③	曲線美③	苦心談③	計算機③	
激戦地③	月刊誌③	耕耘機③	交換手③	古今集②	
国産車③	護身術②	座談会②	殺人鬼③	山間部③	
志願兵②	資金源②	試金石②	試験官②	自尊心②	
支店長②	四辺形②	写真集②	週刊誌③	受験校②	
受験生②	主人公②	出勤簿③	出身地③	出版社③	
植民地③	初診料②	初任給②	震源地③	新聞紙③	
新聞社③	生産者③	生産地③	責任者③	茶番劇②	
中心部③	聴診器③	挑戦者③	通信社③	通信簿③	
当選者③	同伴者③	日本海②	日本軍②	入選者③	
発見者③	発電機③	避難民②	標準時②	水点下③	
表面下③	不安感②	婦人会②	不信感②	不戦勝②	①
不戦敗②	部分食②	平均値③	方眼紙③	傍観者③	
鳳仙花③	保存食②	本年度③	遊園地③	有権者③	
有段者③	予算案②	輪転機③	録音機③	露天商②	
(6)安心感③	安全圏③	安全策③	安全弁③	一年間③	
一般論③	一辺倒③	遠近法③	横断幕③	横断面③	

長音

二字の漢語

(3)王子①	王手①	教師①	行事①	郷土①	興味①
空気①	稽古①	刑事①	経費①	硬貨①	高価①

その他

戒厳令③	改善案③	回覧板③	外輪山③	管絃楽③
勸進帳③	寒暖計③	逆転劇③	吸引力③	経験談③
計算外③	決断力③	県人会③	講演会③	後援会③
行進曲③	香辛料③	公民館③	金輪際③	最前線③
裁判官③	催眠術③	殺人罪③	残念会③	尺貫法③
終身刑③	十年間③	熟練工③	出身校③	出版物③
商店街③	少年団③	商品券③	職員録③	親近感③
真言宗③	新年会③	睡眠薬③	精神面③	精神力③
性善説③	青年団③	責任感③	世話人会③	先進国③
専門店③	体温計③	着眼点③	中間色③	中近東③
中心街③	通産省③	④ 天然色③	天満宮③	等身大③
討論会③	特産物③	独占欲③	図書館長③	博覧会③
発言力③	百円台③	百分率③	平均像③	平均台③
平均点③	方言集③	冒険心③	忘年会③	訪問客③
朴念仁③	本因坊③	名人芸③	用心棒③	洋品店③
練金術③				④

効果① 交互① 孔子①、② 高度① 候補① 行李①
 周囲① 獸医① 修理① 上位① 唱歌① 商家①
 蒸気① 定規① 正午① 漏斗① 上司① 成就①
 少女① 浄土① 葛蒲① 勝負① 賞与① 聖書①
 清書① 生徒① 整理① 総意①、② 倉庫① 相互①
 造作① 掃除① 装備① 総理① 草履① 注意①
 忠義① 中古① 長期① 調査① 蝶々① 通貨①
 定期① 定義① 亭主① 程度① 闕志① 当時①
 当初① 道路① 乳菌① 女房① 農家① 濃度①
 評価① 風車① 夫婦① 兵器① 平家① 帽子①
 坊主① 名医① 明治① 名譽① 迷路① 毛布①
 勇氣① 遊技① 猶予① 有利① 用意① 用紙①
 楊枝① 流儀① 狛師① 料理① 廊下① 用紙①
 (4)横柄① 九州① 級長① 給料① 兄弟①
 經濟① 境内① 後悔①、^ナ 孝行① 鉾山① 校長①
 高低① 紅白① 好物① 効力① 宗教① 住職①
 酋長① 柔道① 場外① 精進① 装束① 正体①
 招待① 商店① 商人① 商売① 将来① 図体①
 精神① 生物① 生命① 西洋① 性格① 素麵①
 中毒① 注文①、② 町長① 長男① 重宝① 通訳①
 東西① 当番① 東洋① 道案① 乳液① 農業①
 能力① 冰山① 風景① 風俗① 風流① 風力①
 庖丁① 方便① 暴力① 明日①、^ア 明晚① 命日①
 名物① 迷惑① 有線① 友禪① 羊羹① 用心①
 了簡① 両親① 良心①

三字以上の漢語

(4)自動車② 二級酒② 飛行機② 葡萄酒② 步行者②
 旅行記②
 (5)一号車③ 一級酒③ 一周忌③ 慰勞会② 永久齒③
 営業部③ 栄養部③ 栄養士③ 栄養士③ 一等車③ 下級生②
 花崗岩② 滑走路③ 拡声器③ 歌謡曲② 関係者③
 感光紙③ 觀光地③ 感動詞③ 漢方医③ 紀行文②
 氣象庁② 技能賞② 救急車③ 救世主③ 虚栄心②
 許容量② 経営者③ 警報器③ 形容詞③ 化粧水②
 月桂樹③ 高級車③ 航空機③ 合成酒③ 交通费③
 広葉樹③ 五十円② 五十代② 自家用車③ 死刑囚②
 市町村② 視聽率② 失明者③ 執行部③ 指定券②
 指定席② 志望校② 死亡率② 社交界② 社用族②
 自由席② 柔道部③ 授業料② 受精卵② 手榴弾②
 上層部③ 消防士③ 消防車③ 乗用車③ 蒸留酒③
 食堂車③ 処世術② 除草剂② 書道展② 所有權②
 所有物② 司令官② 信号機③ 新生児③ 心臓部③
 針葉樹③ 信用度③ 頭痛薬② 成長期③ 西洋紙③
 西洋史③ 設計図③ 宣教師③ 全盛期③ 戦闘機③
 扇風機③ 占領下③ 装甲車③ 測量士③ 代表者③
 多数決② 暖房費③ 地中海② 地動説② 地方色②
 手数料② 同業者③ 東京都③ 導入部③ 特級酒③
 二条城② 日章旗③ 二等賞② 二等兵② 入場者③
 人情味③、④ 配偶者③ 発動機③ 反抗期③ 非常食②
 美容院② 父兄会② 不敬罪② 負傷兵② 仏教徒③

- 舞踏会② 武道館② 武勇伝② 文房具③ 包装紙③
 放送部③ 暴風雨③ 牧草地③ 母性愛② 哺乳類②
 未亡人② 野球界② 野球熱② 夜光虫② 優勝旗③
 優勝者③ 輸入額② 予想外② 流行歌③ 靈柩車③
 労働者③
 (6)安定感③ 一等賞③ 一等兵③ 飲料水③ 運動会③
 運動員③ 運動量③ 運命論③ 影響力③ 栄養分③
 円周率③ 応援団③ 外交官③ 外交員③ 回数券③
 回想録③ 解放感③ 合衆国③ 觀光客③ 官公庁③
 感想文③ 漢方薬③ 急行券③ 九州勢③ 官公庁③
 強壯剤③ 競争心③ 共通項③ 共通点③ 緊張感③
 芸能界③ 敬老会③ 決勝戦③ 決勝点③ 決定戦③
 研究生③ 現行犯③ 健康法③ 原生林③ 原動力③
 交響曲③ 高校生③ 工場長③ 喉頭癌③ 功労者③
 国防色③ 国有林③ 金剛石③ 昆虫類③ 最高裁③
 最高点③ 最終回③ 財政難③ 最低限③ 最低点③
 殺虫剤③ 三十円③ 三十年③ 三等賞③ 山陽道③
 従業員③ 重軽傷③ 修正案③ 集中力③ 修道院③
 周遊券③ 出生率③ 上級生③ 猩紅熱③ 常習犯③
 小数点③ 正倉院③ 上等兵③ 鐘乳石③ 消防団③
 蒸留水③ 食糧難③ 食料班③ 女子校生③ 人生観③
 水道料③ 成功率③ 製造業③ 生命力③ 清涼剤③
 説明会③ 説明文③ 千秋楽③ 先入観③ 想像力③
 卒業生③ 大道芸③ 太陽熱③ 太陽暦③ 誕生石③
 鎮痛剤③ 通行券③ 通用門③ 抵抗力③ 鉄条網③

- 天王山③ 天皇杯③ 同級生③ 同級会③ 同好会③
 東照宮③ 同窓会③ 同窓生③ 投票権③ 登竜門③
 日光浴③ 入場券③ 反響音③ 風来坊③ 文芸欄③
 平行線③、① 防衛庁③ 放送局③ 放送劇③ 暴走族③
 防虫剤③ 傍聴席③ 方程式③ 包容力③ 放浪癖③
 万葉集③ 盲腸炎③ 優勝杯③ 優等生③ 優等賞③
 郵便物③ 有名校③ 養老院③ 予備校生③ 流動食③
 劣等感③ 連合国③ 練習量③ 労働力③
 その他
 (5)割烹着③ 金曜日③ 月給日③ 剣道着③ 最終日③
 水曜日③ 体操着③ 誕生日③ 定休日③ 日曜日③
 木曜日③ ラグビー部③
 (6)スーパーマン③ チャーシュー麺③ 投票箱③、④
 何十円③ 何十人③ マイカー族③
- 二重母音
 二字の漢語
 (3)合図① 会議① 懷妒① 最古① 最後① 妻子①
 水車① 大尉① 大意① 大家① 大火① 退化①
 大差① 胎児① 退治① 大蛇① 大豆① 大地①
 態度① 逮捕① 内助① 背後① 敗者① 雷雨①
 来世① 賄賂①
 (4)海外① 罪悪① 財産① 催促① 最中① 裁判①
 体育① 体温① 大将① 大臣① 水晶① 水分①
 太陽① 体力① 内外① 来月①
- 三字以上の漢語

- (5) 慰霊祭② 給水車③ 魚貝類② 現在地③ 倦怠期③
- 現代史③ 航海記③ 交際費③ 購買部③ 三回忌③
- 三塁手③ 三塁打③ 時代劇② 支配人② 重大事③
- 寝台車③ 世界観② 潜水夫③ 鮮明度③ 淡水魚③
- 重大事③ 肉体美③ 熱帯魚③ 年代記③ 破壊力②
- 番外地③ 犯罪者③ 被害額② 無頼漢② 本塁打③
- 麻酔薬② 問題児③
- (6) 一回戦③ 一体感③ 海水浴③ 境界線③ 兄弟分③
- 組員③ 経済界③ 原水爆③ 国際色③ 最大級③
- 最大限③ 催涙弾③ 参拝客③ 失敗策③ 障害物③
- 招待券③ 女子大生③ 水平面③ 石灰岩③ 石灰水③
- 絶対数③ 絶対量③ 同類項③ 二三歳児④ 忍耐力③
- 警梯山③ 弁財天③ 北海道③ 門外漢③ 問題外③
- 問題集③ 問題点③ 落第生③ 落第点③ 立体感③
- 連隊長③

その他

- (3) 迷子① 焼刃①
- (5) サイン会② 端境期③

先にあげた音節第2モーラ核の複合語と、これらの音節第1モーラ核の複合語との違いはどこにあるのだろうか。
 まず、音節第2モーラ核の複合語を作るか音節第1モーラ核の複合語を作るかは、前部成業によって決まるのではない。それは前部に共通要素を持つ次の例を見れば明かである。

- 婦人服③——婦人会②
- 少年院④——少年団③

- 哺乳瓶③——哺乳類②
- 研究室④——研究生③
- 葡萄棚③——葡萄酒②
- 救急箱④——救急車③

それならば後部成業によって決まるのか。少しの例外はあるものの、ほぼそうだと言つてよい。〆式、〆人、〆瓶、〆服、〆室、〆区、〆号、〆茶、〆虫、〆箱、〆口、後部が居体言の場合などは、音節第2モーラ核の複合語を作り、〆車、〆会、〆長、〆校、〆国、〆酒、〆器、〆機、〆水、〆紙、〆者、〆色、〆歌、〆券、〆点、〆部、〆感、〆生、〆日、〆類、〆力、〆地、〆度、〆期、〆心などは、音節第1モーラ核の複合語を作る。しかしこれも絶対的ではなく、拍数が少ないものになると無核の複合語が多くなり(例 延期 花瓶 語感 初心 無心 表紙 部長など)、拍数の多いものでも以下のような例外はある。

- 火炎瓶②(規則通りだと③)
- 一年生④(規則通りだと③)

「〆式」「〆度」などは、音節第1モーラ核か、音節第2モーラ核かで意味の対立をなしている。

方程式③(第1モーラ核)……………数式の意
 卒業式④ 結婚式④ 始業式③(第2モーラ核)……………儀式の意
 信用度③ 鮮明度③ 本年度③(第1モーラ核)……………度合、年度
 今度② 三度② 九度②(第2モーラ核)……………回数、温度
 「本」も意味の違いに対応しているように見えるが、これは「本」による違いというよりも、やはり後部成業の性格がアクセントに表れたものであろう。

〔本店① 本名①（第1モーラ核）………本当の意
本屋② 本棚②（第2モーラ核）………書籍の意

「書籍」の意味でも「本類」では②ではなく①となる。

それでは、後部成素となった時に音節第1モーラ核の複合語を作る語と、音節第2モーラ核の複合語を作る語とはどう違うのか。注目されるのは、和語が後部成素になった場合には、音節第2モーラ核の複合語を作ることが圧倒的に多いということである。このことからすぐに、両者の違いを口頭語性の強弱に結びつけるのは、短絡的に過ぎるかもしれないが、漢語の例を見ても、音節第2モーラ核の漢語には日常語が多いように感じられる。そしてこのことは、北九州市小倉方言では、音節第2モーラ核が普通にふだんの日常会話で表われていることを表わす。

2、3 単語結合体

複合語にこれだけ多数の音節第2モーラ核が現れるのであるから、それよりも結合の緩い単語結合体にも音節第2モーラ核が現れるだろうということは容易に予想される。付属語のアクセントについては書いたことがあるのでそれを参照されたい。北九州市小倉方言で語頭に核を持つ付属語が、末尾に特殊拍を持つ語に続くとき、音節第2モーラ核を有する単語結合体が出る。これは、日暮嘉子氏が東京方言の「シカ」について述べておられるのと同じ現象であるが、北九州市小倉方言の場合には、語頭に核を持つ付属語が「シカ」の他にも「コソ、サエ、スラ、デワ、デモ、ナド………」等、多数である。それだけ音節第2モーラ核の生ずる割合が高いということだろつ。

北九州市小倉の「モーラアクセント方言」について、その内容を報告してきたが、小倉方言と言っても、その内部に差があることが予想される。特に年齢層による差が気になるところであるが、本格的な調査を行なったわけではないので、詳しい言及は避けたいが、予備調査の段階では、老年層は音節第2モーラ核の出現する割合が筆者のものに比べて低いようである。その差は、多くは複合語と単語結合体の場合に見られ、単純語では差はほとんど見られなかった。形態とアクセントとの関係を考えさせる興味ある問題であるが、全て今後の課題としたい。

注

注1 この事実に触れた論文は多いので列挙はしないが、例えば次のようなものに記述が詳しい。

川上業「日本語アクセント法」（学書房出版 昭和49年）

秋永一枝「明解日本語アクセント辞典」第二版（三省堂 昭和56年）

注2

一つは服部四郎に代表される「音節」で、もう一つは有坂秀世に代表される「音節」である。前者に従うと、撥音、促音、長音、二重母音の後半モーラはそれぞれ自身では一音節を形成せず、直前のモーラと一緒に一音節を形成する。そして長さの単位であるモーラとは区別される。後者に従えば、上記のような音も音韻論的音節として一音節を形成することになる。本稿は全体として上野善道注3論文に負うところが大きいので、上野氏に従い「音節」と言えば前者の意味での「音節」をさすことにする。「2モーラ1音節」という用語も上野氏の用い方に従う。ただし本稿は音節について両者の是非を問うものではない。音節についての研究は多いが、金田一春彦「日本語音韻の研究」（東京堂）に両者の違いのわかりやすい記述がある。

注3 上野善道「地方アクセントの研究」（東京堂）に両者の違いのわかりやすい記述がある。注4 日暮嘉子「日本語のアクセントについて」（月刊「言語」昭和48年1月） 上野

普通 注3の論文

注5 服部四郎「アクセント素・音節構造・喉音素」(『音声の研究』9 昭和36年)

杉藤美代子「日本語アクセントの研究」(三笠堂 昭和52年)

久野マリ子「自立語・助詞・助詞連綴のアクセント——境界地帯のアクセントを中心として——」(『国学院大学紀要』22 昭和59年) など

注6 上野善道「アクセント調査語彙用参考資料」(『アジア・アフリカ文法研究』10 昭和56年、57年)

注7 杉藤美代子注5研究者には、「ハット」のようなアクセントを認知する原理が解

かれているが、筆者の内省では「ハット」なのか「ハト」なのか即座には決め難い(傍線は高く発音する部分を表す)。久野マリ子注5論文では「(glo)」「(有るよ)が引かれている。「丁寧」に発音すると「(aude)」となる」と書かれている。久野氏の言われる様な例は小倉方言でもたくさんあって、例えば、

全国区 ゼンコック? ゼンコック(丁寧)
洗濯機 センタッキ? センタッキ(丁寧)
音楽会 オンガツカイ? オンガツカイ(丁寧)
六角形 ロッカツケイ? ロッカツケイ(丁寧)

しかし、丁寧な発音ではゼンコックだからと言って、それが促音化した「ゼンコック」がゼンコックかどうかは自信がない。奥村三雄氏も述べておられるように(『音韻とアクセント』国語国文27-19)、「高低ア(アクセントのこと 木部注)においては、ア→音韻変化よりも、音→ア変化の影響関係の方が著しい」のである

から、促音化がアクセントに何らかの影響を及ぼすことも考えられる。もっともこのように考えること自体、あるいは「ゼンコック」のアクセントがゼンコックなのかゼンコックなのか、明確な認識が出来ないこと自体、小倉方言では促音に関し

ては東京と同じように音節単位のアクセントであることを意味するのかもしれない。

注8 池上慎道「漢語造語力の現状」(『言語生活』129 昭和37年、『漢語研究の構想』に再録)

注9 秋永一「明解日本語アクセント辞典」第二版のアクセント習得法則、奥田邦男

「生成音韻論から見た複合語のアクセント」(『国文学放』100 昭和58年)等を参

考にした。

注10 従って、II-④、III-⑤における接合部分の核は、後部成素の責任において付け

加えられると考える。このように考える根拠はいろいろあるが、アクセント的には

本稿の以下の部分で取りあげる。奥田邦男注9の論文でも、複合語全体の最後の構

成要素のアクセントの種類によって複合語のアクセントが決定されると考えられている。また、連濁に関しても、連濁するかしないかは後部成素の責任において決定

されることが多いという事実がある。中川芳雄「連濁・連清(仮称)の系譜」(『国語国文』35-16)などに書かれているように、後部成素となる語の性質(中川氏の言われる「連濁可能語彙」が、近代(古代に対する)の連濁に対して大きな支配力を持っている。

注11 「ノ式」は拍数が少ないと、意味と関係なく無核になる。

ただし、儀式、古式は①
葬式① 旧式① 公式① 数式① 等式① 図式①

注12 拙稿「付属語のアクセントについて」(『国語学』134 昭和58年)

注13 日暮嘉子注4の論文

(付記) 本稿執筆後、国語学会公開講演会において、柴田武氏の「アクセント研究の課題」が講演された。本稿の内容に大きく関係する御講演であったが、これにより本稿に訂正を加えるべき必要はなかったことを、蛇足ながら申し上げる。